

食ロスやSDGsが ちょっとわかった気がした!

おやつを作って
考えた!

プテラうま
みかんの
牛乳寒天



- 材料
- 水.....200cc
 - 牛乳.....100cc
 - 砂糖.....30g
 - 粉寒天.....2g
 - みかん缶.....適量

- 作り方
- ①鍋に水と粉寒天を入れて沸騰させ、2分ほど混ぜながら加熱する。
 - ②弱火にしてから牛乳と砂糖を加えて混ぜ、全体を混ぜたら火から下ろす。
 - ③みかんはパットに並べて用意しておく。
 - ④パットに②を注いで粗熱を取り、冷蔵庫で冷やす。
 - ⑤冷えたら食べやすい大きさに切り分けて完成!



今回はDIYのテーマが「カフェ」だったので、子供でも簡単に作れる「節約スイーツ」作りに挑戦しました! 作ってみる条件は「①常備品や残り物を使う(いつもお家にある物)」「②手順が簡単」「③見栄えも大切」この3つの条件でやってみよう!
春奈ちゃんが作るのは「プテラうま! ミルクカクテル」。それと亮ちゃんが作るのは、ちよっと地味だけど、冷ごはんをつぶした「焼きコーン五平餅」。二つともお家に常備しているミカンやコーンの缶詰と牛乳や冷ごはんで作っちゃいましょう!
それじゃ作り方はお母さん(片村先生)に教えてもらいましょう!

お家買い置きしている「常備食料」を使ってみました。新しい食材などは楽しいですけど、今回はいざという時に家族みんなの助けになる常備品にスポットを当ててみました。ミルクカクテルは切り方など工夫すると「フルーツサンド」みたいに見栄えも楽しい良い感じですよ! 缶詰などは賞味期限など確認しながら上手に使いまわしましょう! そして冷ごはんをつぶして作った五平餅「もったいない」と「再利用」何となくわかった気がした亮ちゃんなのです。



片村優美プロフィール

釧路短期大学生生活科学部・専任講師。ご当地食材を中心にした地域密着型のレシピサイト「kushirepiro」を運営。企業の商品開発や地域活性化事業などにも携わっている。

片村さんツイッター <https://twitter.com/katamurayumi>
片村さん所属「くしれびろ」 <https://kushirepiro.com>



焼き
コーンの
五平餅



- 材料
- ごはん.....200g
 - コーン.....50g
 - 片栗粉.....小さじ1
 - サラダ油.....適量
 - 味噌、醤油、砂糖.....大さじ1

- 作り方
- ①ご飯をスプーンやすりこぎで潰して、コーンと片栗粉を混ぜる。
 - ②4等分してまとめ、割り箸を包むように小判型に成形する。
 - ③味噌、醤油、砂糖を合わせてタレを作る。
 - ④フライパンを温めてサラダ油をしき、②を焼く。
 - ⑤表面が固まったら③を塗り、焼き色が付くまで焼いて完成。

加熱しすぎるとコーンが跳ねるので注意しましょう。返すときに崩れやすいので、ご飯はしっかりと潰した方が良いでしょう。

キッズ プログラミング教室

「寺子屋×ぷろぐれす」

～札幌資生館教室～

通常レッスン残枠わずか!

使用言語: Scratch3.0 対象: 小・中学生

	火曜日	木曜日	日曜日
15:50-17:00	[残1]	[残1]	10:00-11:10 [満席]
17:20-18:30	[満席]	[満席]	11:30-12:40 [満席]
			14:20-15:30 [残1]

姉妹校WeducationAcademy白石教室: 金・土開講中 9月より水曜開講

月額 6,600 円～
(※金額は税込)

詳細は 寺子屋 札幌 で検索

入会・無料体験に関するお問合せ

【LINEが便利です】

寺子屋×ぷろぐれす 札幌資生館教室
札幌市中央区南6条西8丁目4-11 2階
<https://innovate.co.jp/terakoya/>
TEL(011)206-1790 (10:00-18:00) (運営:イノベイト)

LINEは右のQRコードを読み、お友達追加の上、お問い合わせ下さい。



バケツ稲栽培報告

屯田西小キラキラ学級担任の西です。

種もみを水につけるところから、みんなワクワクしていました! 毎日、自分で水をかえ、小さな白い芽に気付けた時には歓声も! 「ぼくのは芽があまり伸びていない、〇〇君のは伸びている!」という話から、人間も一緒、一人一人みんな違うよね。

背の高さも得意不得意もみんな違うけど、みんな一生懸命頑張っているよねと様々な特性があるキラキラ学級の子どもたちが自分を認める・お互いを認め合う学習場面となりました。

ミニ田んぼ作りは、泥の感触が気持ちよかったです。おしまいの時間になっても、何度も何度もかき混ぜていました! 種もみと肥料が入っていた袋に「ななつぼし」と書かれていたのを見て、おうちのお米はなんだろう?! と銘柄に興味をもった児童もいました。「北海道で作られているお米は?」というようにどんどん学習が広がっていきます。

そして、みんなの稲は8月になって左下の画像のように大きく育っております! 報告でした!

